

第 9 回定時株主総会 株主さまからのご質問等に対するご回答

本総会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、事前の議決権行使にご協力を賜り、誠にありがとうございました。多数の株主さまより、インターネット等による議決権行使サイト及び当日のライブ配信のコメント機能を利用したご質問・ご意見等をお寄せいただきました。

本資料では、その中でも寄せられた件数が多く、一般的にご関心が高いと思われる内容についてご紹介いたします。

東急ハンズの事業譲渡に関する事項

(ご質問) 東急ハンズの事業譲渡について。

(ご回答) 東急ハンズの事業譲渡に関するご質問を、多数いただきました。

当社が事業ポートフォリオの見直しに取り組む中、また、小売業の市場環境が変化の中で、ハンズのポテンシャルを当社が活かしかれるのかという視点で検討を重ね、「譲渡」が最適であるという結論に至りました。

譲渡先の株式会社カインズ様は、ハンズブランドを大変高く評価いただいているだけでなく、これからのハンズに必要な、知見や経営資源を有する、日本最大級の事業者様でもございます。

価値観に親和性のある両社が、それぞれの強みを組み合わせていくことで、お客様に新たな価値を提供できると信じております。

引き続き東急ハンズをご愛顧いただければと存じます。

(ご質問) 譲渡に伴い株主優待制度に変化はあるのでしょうか。

(ご回答) お買い物優待カードについて

2022 年 2 月 25 日付けリリースのとおり、本年 6 月発送分より、東急ハンズお買い物優待カードは廃止いたしました。なお、2021 年 6 月に発行しております優待カードは、有効期間終了(2022 年 7 月末)まで引き続きご利用いただけます。

(ご参照 株主優待制度の一部変更(廃止)に関するお知らせ)

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/news/pdf/2802.pdf>

継続保有株主優遇制度(カタログギフト)について

カタログギフトについては、例年どおり、対象の株主さまに向けて、株主総会終了後、配当金のご通知に同封し発送しておりますのでご確認いただければと存じます。

株価及び株主還元に関する事項

(ご質問) 株価水準についてどのように考えているか教えてください。

(ご回答) 株価については、市場における投資家の評価と認識しております。

コロナで明確になった課題を克服し、構造改革を推進することで、業績向上に取り組み、より高いご評価をいただけるように努めてまいります。

なお、当面の方針を「配当性向 30 %以上」、「安定的な配当の維持継続」としており、第 9 期(2021 年度)の期末配当は、前年対比では 1 株当たり 1 円増配の 9 円とし、年間配当金は 1 株当たり 17 円といたしました。第 10 期(2022 年度)の年間配当金は 1 株当たり 18 円を計画しております。

広域渋谷圏をはじめとする中長期開発など成長投資を通じ、創出した利益を株主さまに還元できるよう取り組んで参ります。

(ご質問) 株主優待制度を廃止する会社が増えておりますが、継続される予定でしょうか。

(ご回答) 当社の株主優待制度は、株主さまに当社サービスや事業地の魅力を紹介することで、当社事業に関心を持っていただき、多数のご来訪に繋げるとともに、株式市場に対してアピールすることも、目的の一つとしております。

実際に、株主さま、投資家の方々より、株主優待制度に関するお問い合わせを多数お寄せいただくほか、株主優待銘柄を特集した記事等にも掲載されております。

ご利用実績も含め、その効果には手応えを感じていることから、今後とも様々なご意見を参考に、株主優待制度を継続していきたいと考えております。

(ご意見) 株主優待制度の拡充を希望します。

(ご回答) 当社では DX を推進しており、株主優待制度においても、WEB の活用による、内容の充実、利便性向上等について検討をしております。

なお、2022 年 6 月発送の「株主の皆さまへ 第 9 期報告書」のなかで、株主さまアンケート企画(※)を実施しておりますので、是非、皆さまのご要望をお寄せください。今後の株主優待制度の方向性の参考とさせていただきます。

(※アンケート企画の応募締切は 2022 年 7 月 18 日となります)

渋谷の再開発に関する事項

(ご質問) 中期経営計画後の渋谷の街はどのような姿になっているのでしょうか。

(ご回答) 2021 年 7 月に、東急株式会社とともに、“Greater SHIBUYA 2. 0”を策定、公表いたしました。

人口動態の変化やテクノロジーの進化に伴う人々の行動様式の変化や、環境問題、社会課題への関心の高まりをアップデートしており、今まで掲げてきた、Greater SHIBUYA 1. 0をより強化していくことに加え、「働く、遊ぶ、暮らす」の 3 要素の融合と、デジタルサステナブルに取り込むことで、より魅力的で持続性のあるまちづくりを進めて参ります。

(ご参照 「渋谷まちづくり戦略 “Greater SHIBUYA 2. 0” の策定について」)

<https://www.tokyu-land.co.jp/news/2021/001300.html>